

林業安全コラム

みんなで感謝の総点検
笑顔で迎える 年末年始
(平成30年度年末年始無災害運動標語)

先月東京都あきる野市で開催された2018森林・林業・環境機械展示実演会で、安全関連として目についた商品等をご紹介します。

○ キッツキ・ハンマー プラムシステム(有) 【来年4月販売予定】

キッツキ・ハンマーは騒音環境下で働く作業者の安全・安心確認装置として主に土木現場用に販売されているそうです。今回展示されていた新製品は、ゲートウェイインターフェイスを搭載し、現行のものより通信距離が5倍に伸びているとのこと。

その他の特徴は、作業者の転倒・滑落・打撲での急激な身体変動を加速度センサーが感知し無線(LPWA LoRa)で遠隔の仲間に知らせるそうです。また、急に動けない状況に陥った場合であっても、一定時間の動いていない状況を感じて遠隔の仲間に知らせるそうです。

作業員同士が一定の距離を保ちつつ作業する林業現場では、周囲に声が届きにくく、怪我をしても遠隔の作業員が気がつかず、早期発見されにくい状況にあります。そのような環境の改善に期待できそうです。



親機1、子機5（子機1つはヘルメットに装着）

○ 安全関係シミュレーション (株)レンタルのニッケン・コマツ

レンタルのニッケンでは「シミュレーションで作業に潜む危険を知る」をキャッチコピーに写真の装置が展示されていました。左は、チェーンソー作業時の「キックバック」をシミュレーションする装置です。右は、正しい「受け口」や「追い口」が練習でき、実際に伐倒まで行うことができる伐倒練習機です。これ以外にも、無駄な動きや負担の少ない枝払い方法を学ぶ枝払い練習装置などがありました。

コマツでは、ハーベスタシミュレータを体験するブースがありました。北欧では、シミュレータによる十分な経験がないと実物は操作できない仕組みだそうです。

何事も体験や練習の積み重ねが必要ですね。



キックバック体験装置



伐倒練習用丸太固定装置

林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）

・福井県（発令期間：H30. 9. 18～H30. 12. 31）・北海道（発令期間：H30. 10. 16～H31. 1. 31）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.htm>

・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org

林野庁
林業労働対策室
労働安全衛生班
TEL:03-3502-1629